

出題のねらい

ア. 全般的なねらい

思考力や想像力を働かせて国語を正確に理解し、適切に表現する力をみるために、国語の基礎的・基本事項を中心として幅広く出題した。

イ. 各問ごとのねらい

- ① 科学と融合した現代の技術と生活空間の関係について考察し、現在から未来に至るまでの我々の責任を指摘した説明的な文章によって、文脈に即しての読み取りや言葉の知識、文と文の関係を論理的にとらえる力、文章構成を意識しつつ筆者の主張を読み取る力をみるとともに、それを適切に表現する力をみる。
- ② 「奥の細道」「春夜桃李園に宴するの序」の各一節を利用して芭蕉の文学理念について考察した文章によって、内容に関連した語句や表現、及び論の展開のしかたをおさえつつ、「不易流行」に関する説明を的確に読み取る力をみる。
- ③ 物資の乏しかった戦後、父がほうびとして大学の図書館の本を貸してくれたというエピソードを回想した文学的な文章によって、大人の世界に初めてふれた娘の思いを読み取るとともに、当時の父の様子や表情の意味を理解した今の「私」が父に寄せる思いをも読み取り、それを適切に表現する力をみる。